

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

〈みずむし・たむし用薬〉

# トリステアEX8液

第②類医薬品

水虫・たむしは、白癬菌というカビが皮膚の角質層等に寄生して起こる皮膚病で、かゆみや痛みを伴うことがあります。

トリステアEX8液には8種類の有効成分を配合。1日1回の使用により、かゆみや痛みを伴う(水虫・たむし)不快な症状を改善します。



## 使用上の注意



### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起りやすくなります)

#### 1. 次の人は使用しないでください

本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

#### 2. 次の部位には使用しないでください

(1)目や目の周囲、粘膜(例えば、口腔、鼻腔、膣等)、陰のう、外陰部等。

(2)湿疹。

(3)湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部。



### 相談すること

#### 1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

(1)医師の治療を受けている人。

(2)妊娠又は妊娠していると思われる人。

(3)乳幼児。

(4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(5)患部が顔面又は広範囲の人。

(6)患部が化膿している人。

(7)「湿疹」か「みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人。

(陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い。)

#### 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感、熱感、乾燥感、ヒリヒリ感

#### 3. 2週間位使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 【効能・効果】

みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし

## 【用法・用量】

1日1回、適量を患部に塗布してください。

### (用法・用量に関する注意)

(1)定められた用法・用量を厳守してください。

(2)患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。

(3)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。

(4)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。

(5)外用にのみ使用してください。

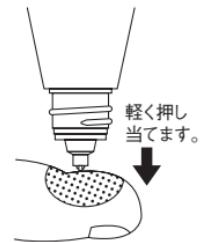
## 〈容器の使用法〉

- 使用前に、容器の先端を上に向けて、手の指で中栓の先を2~3回空押して中の空気を抜いてください。  
(暑い時期、高温の場所に置かれた場合や薬液が少なくなった場合などに、容器内の圧力が高まり薬液が多く出ることがありますので、これを防ぐためです。)
- 使用するときは容器を下向き又は斜めにして、先端を患部に軽く押し当てて塗布してください。容器の先端を患部から離すと液が出なくなります。(強く押し当てたり、容器胴部を強く握ると薬液が多く出ます。)

[使用前]  
2~3回空押します。



[使用中]



## 【成分・分量】 100mL中

ブテナフィン塩酸塩	1.0 g	リドカイン	2.0 g
グリチルレチン酸	0.5 g	クロタミトン	5.0 g
dL-カンフル	1.0 g	イソプロピルメチルフェノール	0.3 g
クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.5 g	l-メントール	1.0 g
添加物：エタノール、1,3-ブチレングリコール、マクロゴール、リン酸			

## (成分に関する注意)

アルコールを含んでいますので、塗布時にしみことがあります。

## 【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。  
なお、使用期限内であっても、開封後は品質保持の点からなるべく早く使用してください。
- (5)火気に近づけないでください。また、使用済みの容器は火中に投じないでください。
- (6)本剤のついた手で、目や粘膜に触れないでください。
- (7)合成樹脂(スチロール等)を軟化したり、塗料を溶かしたりすることができますので、床や家具等につかないようにしてください。

## 水虫治療のポイント

- 患部はいつも清潔にしましょう。靴下や靴等も清潔なものを使用しましょう。
- 白癬菌の寄生は、症状のあらわれている範囲より広がっていることが多いため、薬剤は広めに塗布しましょう。
- かゆみ等がなくなっても、再発があるためしばらくの間は根気よく治療を続けましょう。
- 患部のむれを防ぎ、乾燥に心がけましょう。

本品についてのお問い合わせは  
お買い求めのお店又は下記にお願い致します。  
万協製薬株式会社「お客様相談室」  
電話 0598-30-5376  
受付時間 10:00~17:00  
(ただし、土、日、祝日は除きます。)

製造販売元  
万協製薬株式会社  
三重県多気郡多気町五桂1169-142  
A2702